

# SDGs (持続可能な開発目標) に向けた取り組み： 開発途上国の母子保健改善

3 すべての人に  
健康と福祉を



2019年1月7日(月)

15:00 ~ 16:30

共通講義棟 1号館 401室

講師：萩原明子氏

国際協力機構 (JICA) 国際協力専門員 (保健)



パレスチナ人の親子と接する萩原氏 (撮影：今村健志朗)

## 【講師略歴】

JICA 国際協力専門員 (保健)

お茶の水女子大学文教育学部卒業後、同大学院人文科学科修士課程修了後、米国にて Ph.D. 取得。1998 年より JICA 専門家・2008 年より国際協力専門員として、パレスチナ、ガーナ、スーダン等の母子保健の改善に取り組む。

## 【講座概要】

私たちには親しみのある母子健康手帳。その母子健康手帳が、途上国の母親と子どもの健康を守ることに役立っていることをご存知ですか？現在、インドネシア、パレスチナ、ベトナムなど、世界8か国で、年間800万組の母子が手帳を活用して、健康の改善につなげています。日本から始まった母子健康手帳が途上国の人々にどのように活用されているか、そして、その可能性は？

母子健康手帳という、身近なところから、SDGsゴール3、世界の母子保健について考えます。

グローバル文化学環「国際協力特論」の一環として実施しますが、どなたでも参加可能です。



パレスチナの母子健康手帳



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

【対象者】本学学生 (学部生、大学院生)、留学生、研究生、科目履修生、聴講生  
教職員他、お茶大関係者 (卒業生)

【参加方法】件名を「1/7 SDGs セミナー参加」とし、「氏名、所属」を、  
info-cwed@cc.ocha.ac.jp までメールして下さい。(「国際協力特論」履修生は申込不要)

【問合せ先】お茶の水女子大学グローバル協力センター

Tel: 03-5978-5546, E-mail: info-cwed@cc.ocha.ac.jp

